

緑化だより

16 平成 19 年 5 月号



エヒメアヤメ

センターの話
さんぽ道
研修会・イベント報告
4/4:春の自然探勝

研修会・イベント紹介
5/3:山菜を学んで食べよう
5/20:早朝探鳥会
花だより
お知らせ・案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://www.hiroshima-cdas.or.jp/ryokka-c>

E-mail ryokka-c@hiroshima-cdas.or.jp

センターの話

『4月29日:みどりの集い』

4月29日は、毎年恒例の『みどりの集い』が緑化センターで開催されます。ご存知の通り、1988年(昭和63年)までは昭和天皇の誕生日であり、昭和天皇崩御後、昭和天皇が自然を愛したことに因んで、『みどりの日』という名称に改められました。今年からは『昭和の日』に改められ、みどりの日は5月4日に移っています。

元々、みどりの日は『自然にしたしむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむ』ことを趣旨としており、『みどりの集い』としては、1997年(平成9年)から開催され、今年で11回目を迎えます。それ以前は、みどり祭りや春の植樹祭としてイベントが行われていました。

今年はいくつかの内容に加え、バルーンアートによる大道芸ショーや紙粘土細工・押し花絵画体験、餅まきやお餅の販売、繭クラフトの販売など新しいブースもあります。数量に限りがありますが、花苗のプレゼントも予定しています。

まさに自然に親しめる1日を過ごしていただけたと思います。ご家族ご友人をお誘い合わせの上、ご来園下さい。



押し花絵画作品

さんぽ道

『溪流の道』 (延長 3.5km 所要時間 120分)

第2駐車場をスタートすると、鹿の食害を受けたトベラがあります。舗装路を入口の方へ下るとスギ・ヒノキ林があり、その横にある麻下川の橋を渡り林内に入ります。

シキミ・ヤブツバキ・アラカシ・ヒサカキ・ハイノキなどの常緑広葉樹が多く見られ、せせらぎの音を聞きながら溪流と平行して歩きます。ここは木陰で、初夏から夏向きの道です。芝地ではパラソルを出して休んだり、溪流に入って遊んだりする子供達も多く見られます。

舗装路に出て下ると、鹿よけネットを張った中にサラサウツギが植えられています。この辺りには、ウツギ・エゴノキ・キブシが見られ、大きなカーブを曲がるとシラカシにテイカカズラが巻き付いています。

さらに下り第1駐車場につくと右折します。この道は公園外の道路になります。しばらく進むと標識があり、右に進みます。溪流に平行した砂利道で、タラヨウなども見られます。舗装路に合流する出口はゲートがあり、石が積んであります。

舗装路に出てすぐ左に下りて、溪流の飛石を利用し対岸へ注意して渡ります。再び、溪流に沿った道(舗装路から見ると麻下川の向こう岸)に入り、森林の中を歩きます。さらに進むと、前述の鹿よけネット(えん堤)の下側で舗装路に合流します。舗装路を上がると第2駐車場に戻ります。

せせらぎの音、葉が揺れる音、野鳥のさえずりなどが楽しめ、心休まる道です。



研修会・イベント報告

4月4日(水)

『春の自然探勝』

19年度最初の緑化研修会『春の自然探勝』は、33名の方が参加されました。研修会に合わすかのように染井吉野も満開になったのですが、前日までの小春日和から一転し、雪が舞う天候になりました。

手がかじかむ中での研修会でしたが、皆さん熱心に講師の話に耳を傾け、メモをとる姿も見られました。

サクラも含めて、128種類の樹木や品種の説明と解説



染井吉野(満開)と季節外れの雪

が行われました。コバノミツバツツジ・クロモジ・ハウチワカエデ・ダンコウバイなどの花が咲いているものから、花や葉がまだ出てきていないものまで、目に付いた植物の説明がありました。季節外れの雪で早めに終了しましたが、天候の急変に皆さん驚かれていました。

今年度は月に2回程度植物観察会を実施する予定です。



研修会状況

研修会・イベント紹介

5月3日(木)『山菜を学んで食べよう』 10:00～12:00

学習室 講師: 広島県森林インストラクター 尾崎征生

山菜の人気は年々増加しているようです。健康食ブームもあり、多くの方が山菜を口にされていると思います。

この研修会は、毎年たくさんの方に参加していただいています。山菜についての講義があり、実際に調理して試食します。去年は、タラの芽やぜんまい、ごみなどの天ぷらや山菜混ぜご飯などでした。

今年は事前に申し込んでいただくことになっています。お名前と人数を事前にお知らせ下さい。(管理事務所 082-899-2811 迄)

5月20日(日)『早朝探鳥会』 5:00～8:00 管理事務所前

講師: 日本鳥類保護連盟会員 吉見 良一

今までに緑化センターで視認・聴認された野鳥は107種(14目31科)です。今では見られない鳥もいますが、野鳥のさえずりは絶えず聞こえてきます。去年は24種類の野鳥を確認・聴認することができました。さて今年は何?

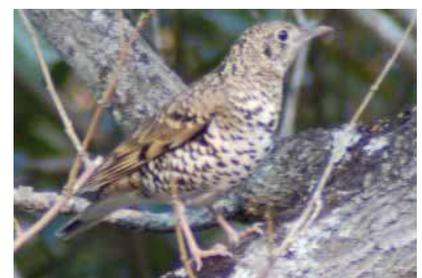
5月6日(日)『新緑を見ながら樹木を知ろう』 10:00～12:00 講師: 中塚 道則

5月13日(日)『新緑の山を歩こう』 10:00～14:00 講師: 清藤 徹

5月24日(木)『晩春の自然探勝』 10:00～12:00 講師: 駄賀 恒男



H18年緑化研修: 山菜を学んで食べよう



トラツグミ: H19.3.23 撮影

花だより

ハナミズキ ミズキ科 ミズキ属



上:ハナミズキの実 下:ヤマボウシの実

四月も半ばを過ぎると染井吉野は葉桜となり、あちこちの公園や学校で白い(時にピンク色)四枚の総苞片(花弁のように見える)をつけた『ハナミズキ』が咲きます。樹高はあまり高くなり、紅葉もすることから庭木や街路樹としても利用されています。

この樹は、明治42年(1909年)当時の尾崎行雄東京市長がアメリカに桜の苗木を贈った(今もポトマック河畔で咲いている)御礼にアメリカから贈られたもので日本のヤマボウシによく似ていることから、『アメリカヤマボウシ』とも言われ、花言葉は『返礼』です。

両者の違いは、ハナミズキは葉が展開する前か同時に開花するのに対し、ヤマボウシは葉の展開後に開花しますし、秋に実る果実は全く異なります。ハナミズキは液果状の核果で暗紅色に熟します(写真上)が、ヤマボウシは集合果で赤く熟しイチゴ状になります。(写真下)

お知らせ・ご案内

4月29日(日)は『みどりの集い』を開催します。

10:00~15:00 多目的広場

毎年恒例のイベントです。詳細はパンフレットをご覧ください。各ブースで受付時間や受付人数が決まっているものがあります。また、参加料が必要なものもありますので、実行委員会などでお確かめ下さい。



カブトムシ幼虫探し

展示会のお知らせ

緑化センターの木の葉展:開催中~5月13日(日)

押し花展:4月21日(土)~5月6日(日)

私の野鳥写真展:5月9日(水)~6月3日(日)

夏のバードカービング:5月8日(火)~8月31日(金)

展示場所:レストハウス

(レストハウスには様々な資料を置いていますのでご自由にお取り下さい)

野生きのこの展示について

緑化センターの野生きのこをレストハウスで常設展示しています。季節によって様々なきのこをご覧いただけるとと思います。きのこの鑑定は管理事務所で受け付けています。



紙ヒコーキ大会

注)公園内での植物採取は禁じられています。ご理解とご協力をお願いいたします。